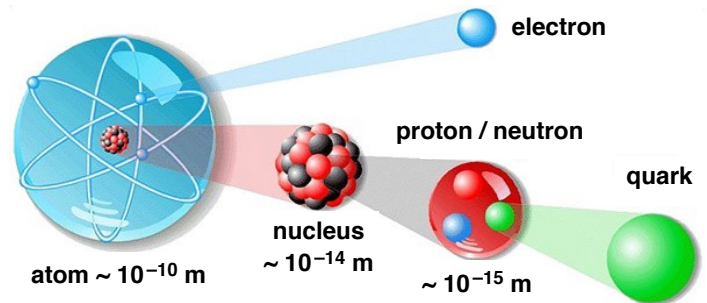


2011年 **10月7日 金曜5限 開講!**

冬学期 主題科目テーマ講義

@ 11号館 1101教室

# 放射線を 科学的に 理解する



## 担当教員：

鳥居 寛之（粒子線物理学）《教養》  
小豆川 勝見（環境放射化学）《教養》  
渡邊 雄一郎（生命環境応答学）《教養》

## ゲスト講師：

中川 恵一《医学部附属病院放射線科》  
石渡 祐樹《工学系原子力国際専攻》  
藤原 徹《農学部応用生命科学》

## 講義内容と日程：

10/7：放射線入門【鳥居】  
10/14：放射線物理学【鳥居】  
10/21：放射線計測学【小豆川】  
10/28：環境放射化学【小豆川】  
11/4：放射線生物学【渡邊】  
11/11：放射線医療【中川】  
11/18：原子核物理学【鳥居】  
12/2：原子力工学【石渡】  
12/9：放射線物理学【鳥居】  
12/16：環境放射化学【小豆川】  
1/10：植物栄養・土壌肥料学【藤原】  
1/20：放射線の利用【渡邊】  
1/27：加速器科学、まとめ【鳥居】

## 単位・成績評価：

2単位。出席とレポートで合否判定。

## 連絡先（担当 鳥居）：

torii-radio@radphys4.c.u-tokyo.ac.jp

原子力発電所の事故以来、環境中の放射能汚染について、また放射線量について、連日報道されてきた。放射線による人体への影響について、専門家の間でも確定的なことが言えず意見が分かれたこともあって、放射線に対する恐怖を訴えるといった反応も見られた。メディアでも度々特集を組んで解説がなされたが、必ずしも国民一人一人が納得して正しい科学的知識を身につけたか疑問である。これまで30年以上にわたって、放射線の基礎的知識に対する教育が十分になされてこなかったことにつけが、科学的リテラシーの欠如となって表れている。

放射線を理解するには、物理・化学・生物学・医学・工学など様々な分野の知識が必要となり、全てを網羅することが難しいことは確かである。大学においても、系統立った授業が行われているのはごく一部の学科などに限られ、広く一般の学生が学べる機会は少ない。

今回のテーマ講義は、夏学期に鳥居が開講して好評をえた自主講義「放射線学」を発展させ、教養学部の3人の教員：鳥居・小豆川・渡邊を中心に、学内外のゲスト講師も招いて、なるべく広く体系的に、放射線に関する科学的知識を身につけ、定性的および定量的に正しく判断する能力を養うことを目的とする。

**対象：**東京大学教養学部生

講義は理科生を主な対象とするが、意欲のある文科生も歓迎

<http://radphys4.c.u-tokyo.ac.jp/~torii/lecture/>  
詳細は講義シラバスを参照のこと。